

【報告3：神奈川県大和市】

平成30年度 第3回
認知症介護研究・研修東京センター：
認知症地域支援体制推進全国合同セミナー
2019年1月18日
有楽町朝日ホール



「認知症1万人時代に備えるまち」を築く

～その人らしさとの出会いによる
それぞれの深まり～



大和市高齢福祉課

上草柳・中央地域包括支援センター

(社会福祉法人 徳寿会)

海瀬 真弓

石毛 幸子

大和市イベントキャラクター ヤマトン

神奈川県大和市

(H30.12.1現在)

- 日常生活圏域 11地区
(民生委員児童委員地区で区分)
 - 地域包括支援センター数
9か所(委託)
 - 認知症地域支援推進員数
14人(市5人・包括9人)
- ・市域の北部(約3分の1エリア)に人口の約半数が居住
 - ・市全域の高齢化率は23.65%
しかし、地区により高齢化率に差がある
 - ・中央林間地区は、高齢化率が18.82%で市内で最も低いが、最も高い32.10%の和田地区より、高齢者数が多い。

2. 中央林間地区

人口 27,656人
高齢者数 5,205人
高齢化率 18.82%

1. 下鶴間地区

人口 39,043人
高齢者数 7,982人
高齢化率 20.44%

3. 南林間地区

人口 28,610人
高齢者数 6,923人
高齢化率 24.20%

5. 深見大和地区

人口 27,647人
高齢者数 5,707人
高齢化率 20.64%

4. 鶴間地区

人口 22,469人
高齢者数 5,824人
高齢化率 25.92%

7. 中央地区

人口 17,511人
高齢者数 4,385人
高齢化率 25.04%

6. 上草柳地区

人口 14,866人
高齢者数 3,248人
高齢化率 21.85%

8. 桜丘地区

人口 9,743人
高齢者数 2,832人
高齢化率 29.07%

10. 福田北地区

人口 14,581人
高齢者数 3,746人
高齢化率 25.69%

9. 和田地区

人口 12,711人
高齢者数 4,080人
高齢化率 32.10%

11. 福田南地区

人口 22,313人
高齢者数 6,154人
高齢化率 27.58%



「認知症1万人時代に備えるまち やまと」宣言

超高齢社会を迎え、認知症になる人は急激に増加しており、大和市においても近い将来、その数は、1万人を超えるものと予測されます。

これからは、誰もが認知症にかかわる可能性があり、あらゆる世代、立場の人が協力しあい、認知症の人への理解を深め、その想いに寄り添っていくことが大切です。

大和市は、認知症の人が住み慣れた地域で、人と人とのつながりを育みながら、自分らしく、安心して暮らし続けられるよう、様々な取り組みを進め、認知症1万人時代に備えます。

平成28年9月15日

これまでの市の取り組み

～認知症施策の充実を大きな柱として地域包括ケアシステムの構築を目指す～

- 平成27年度 市高齢福祉課に認知症施策推進員2名を配置
「認知症カフェ（やまとカフェ）」、「認知症初期集中支援」を開始
- 平成28年度 高齢福祉課に認知症施策推進担当を新設（職員3名）
「認知症1万人時代に備えるまち やまと」を宣言
認知症地域支援推進員を地域包括支援センターに9名配置、市は3名に
施策を充実 認知症カフェ開催増回、初期症初期集中支援本格稼働
「認知症ケアに携わる認知症多職種協働研修」を開始
「認知症ケアパスパンフレット」作成
- 平成29年度 担当の職員を2名（市推進員5名）増員し、施策を充実
「臨床心理士による認知症個別相談・介護者交流会」
「認知症サポーター育成ステップアップ講座」
「はいかい高齢者個人賠償責任保険事業」
「はいかい高齢者位置確認支援事業」
「認知症カフェ運営費補助事業」
「タブレットを活用した認知機能検査」
- 平成30年度 施策を充実
「認知症予防コグニサイズ事業」
「コグニバイクを2台設置」



認知症地域支援推進員の活動に向けて

1 委託先の社会福祉法人施設長に活動を説明

「地域包括支援センター業務説明会」において、市の認知症施策についての当年度、次年度の取り組みを説明。その中で認知症地域支援推進員の活動を報告、次年度の活動についても大まかに説明している。

※地域包括支援センター長にも、毎年度4月に同内容を説明。

2 職員体制の確保（地域包括支援センター業務と兼務）

認知症地域支援推進員としての業務として、0.5人工分の人件費増額。

3 認知症地域支援推進員の業務

「大和市認知症地域支援推進員業務の手引き」を作成し、毎年度更新。



認知症地域支援推進員業務の手引き

○ 手引き作成の目的

各地域包括支援センターに配置された
認知症地域支援推進員が
共通の概念で地域の実情に応じた
認知症施策を推進して
いけるようにすること。



認知症地域支援推進員業務の手引き

○ 大和市認知症地域支援推進員の役割

1 第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画における 認知症施策の推進

- 認知症地域支援推進員連絡会への出席（月1回）
- 市の認知症施策への協力
- 県認知症地域支援推進員研修等への出席
包括内での伝達研修等

2 担当地域の認知症の社会資源等の情報収集と情報提供

- 社会資源等の把握は全地域包括支援センターで行い、
とりまとめは推進員が行い、情報を共有する



認知症地域支援推進員業務の手引き

3 担当地区の認知症事業の企画

- 市の施策、担当地区内の社会資源から見えてきた担当地区内に不足している事業、充実が必要な事業を企画

4 地域包括支援センター内の認知症事業の統括

- 所属する地域包括支援センター内の認知症事業の進行管理、市との調整等、統括を行い、リーダーシップをとる。
- ※ 認知症事業は、包括内の全職員が行うことに変更はない。





大和市イベントキャラクター
ヤマトン

認知症地域支援推進員の活動の実際

～市の認知症事業の推進と地域での認知症事業の展開～

- 1 認知症地域支援推進員連絡会（月1回）
※4月に当年度の取り組みを包括推進員と共有。部会活動の決定。
- 2 部会活動（30年度より開始）
- 3 認知症初期集中支援ケースの提供と訪問、チーム員会議への出席、
チーム員としての役割
- 4 市主催認知症カフェ「やまとカフェ」の運営会議及び当日のカフェ運営協力
- 5 地域包括支援センター主催の認知症カフェの企画、運営（年2回～12回）
- 6 認知症サポーター養成講座の市内全9中学校等での開催を市と協働
- 7 認知症ケアパスパンフレットの改定・カフェマップ作り
- 8 市新規事業等について、市民への周知と参加勧奨
- 9 認知症の人やその家族を支援する相談業務
- 10 研修出席及び復命 県認知症地域支援推進員研修、認知症地域支援体制
全国合同セミナー 等



大和市イベントキャラクター
ヤマトン

認知症地域支援推進員の活動の実際

■ 部会活動

市が企画してまとめた内容を連絡会で推進員全体で意見交換をする形から、企画の段階から市2名と包括3～4名の推進員と一緒に検討し、連絡会で全体の意見交換をして決定する形とした。

- ① 認知症サポーター育成ステップアップ講座の検討
- ② 認知症多職種協働研修の企画
- ③ 認知症当事者の方の声を聴く会

認知症地域支援推進員の活動で 大切にしていること

- 推進員が日頃の業務で培ってきた専門職としての力量を、
発揮できる方法を考える。
- 負担が過剰にならない、やりがいとのバランスを配慮する。
- 推進員同士が学び合えるしくみをつくる。



認知症地域支援推進員活動の今後の課題

- 認知症の当事者のニーズを把握し、実現のための方法を考える。
- 推進員と率直に意見交換できる関係づくり。
事業化には、目的、対象、手段、効果、優先順位等を検討して、共通の認識ですすめることが必要。
- 既存の認知症事業について、そのつながりを整理して、地域づくりを考えていく。



平成30年度 第3回
認知症介護研究・研修東京センター：
認知症地域支援体制推進全国合同セミナー
2019年1月18日
有楽町朝日ホール



認知症カフェからはじまるもの

～その人らしさとの出会いによる
それぞれの深まり～

神奈川県大和市
上草柳・中央地域包括支援センター（晃風園）
保健師：石毛幸子

みのりカフェ（認知症カフェ） の取り組みについて



みのりカフェ

OPEN

日程 **7月2日(月)**
時間 **13:30 ~ 15:00**
場所 **デイサービス晃風園「団楽」**
(大和市草柳2-14-2 田辺荘)

お問合せや
お申し込みは…

上草柳・中央地域包括支援センター（晃風園）
電話：046-263-1108
担当：石毛、高井、福濱、井上、沖津

カフェ
☕



活動・取り組みの位置づけ

○地域包括支援センターの認知症事業の統括

市の施策、担当地区内の社会資源から見えてきた地区担当内に不足している事業、充実が必要な事業を企画

- 認知症サポーター養成講座の企画とまとめ
- 認知症カフェの企画、準備、実施
- 認知症の家族の会の企画、準備、実施
- 地域の専門職の認知症対応力の向上に関する事業
- 医療機関や介護サービス、地域の支援期間をつなぐ事業

カフェ開催のきっかけ

- 市が主催する認知症カフェに、担当地区から参加できる人がほとんどいなかった。
- 市主催の認知症カフェに協力していた担当地区のサポーターが、地域でも開催してみたいという希望と包括が開催したいという意見が一致した。
- 地域の特性を考慮し、地域で生活をする、という視点から生活圏域内でのカフェ開催で、当事者や家族、地域住民同士のつながりを生み出し、更にそれをきっかけに地域住民の認知症に対する理解につなげたかった。

みのりカフェのオープン

会場

認知症対応型デイサービス「団欒」
※休業日（月曜日）に会場を利用
会場キャパは20名程度

開催日時

H30年度 毎月第1月曜日
※それぞれ13:30~15:00オープン

サポーター

H30年度 2Gに編成し年間計画作成

参加者

包括職員が個別に声掛けしお誘い
自治会掲示板にも案内掲示 等々…

いろいろな人に参加してほしい！ ～案内の工夫～

- 本人への告知ができている人ばかりではなく、「認知症」という単語を入れない案内を作成

みのりカフェ

OPEN

日程 7月2日(月)
時間 13:30 ~ 15:00
場所 テイサービス晃風園「団楽」
(大和市草柳2-14-2 田辺荘)

お問合せや
お申し込みは…

上草柳・中央地域包括支援センター（晃風園）
電話：046-263-1108
担当：石毛、高井、福濱、井上、沖津

みのりカフェ

OPEN

「みのりカフェ（認知症カフェ）」は、認知症のご本人とそのご家族を中心に、専門職、ボランティアなどの地域のみなさんが、気軽につどい、交流する場です。

物忘れ等で不安を抱えている方や、認知症と診断されたご本人とご家族の悩みが、少しでも軽くなるように、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることを目指して開催するものです。お茶を飲みながら、ゆっくりおしゃべり等を楽しみにいらっしやいませんか？

お気軽にご参加ください。お待ちしております。

日程 7月 2日(月)
時間 13:30 ~ 15:00
場所 テイサービス晃風園「団楽」
(大和市草柳2-14-2 田辺荘)

～～前日までに下記へお申し込み下さい～～

お問合せや
お申し込みは…

上草柳・中央地域包括支援センター（晃風園）
電話：046-263-1108
担当：石毛、高井、福濱、井上、沖津

サポーターの 理解が深まるための工夫

- 事前ミーティング
- NGワードを考えよう！
- サポーターもはじめは緊張。
スタッフがサポートへ
- 民生委員は強い味方！
- 今日的那个人の一言

H29年8月7日(月)開催分

みのりカフェ

みんなで考えよう！ NGワード



- ①相手の否定をしない
- ②がんばろう、大丈夫と言いつぎない
- ③横柄な態度をとらない(足を組む、のけぞる等)
- ④急がせない、「早くしてください」と言わない
- ⑤一方的に話をしない
- ⑥早口はダメ
- ⑦感情的にならない
- ⑧「本当ですか？」という返事をしない(ありのままを受容する)
- ⑨相手のペースを崩さない
- ⑩「私も認知が始まったかしら？」という会話をしない

みのりカフェ

今日のあの方の一言

平成 30 年 6 月 4 日 開催分

○Yさんがサポーターが持ってきたヤマモモを見て「私もヤマモモを取りに行く！」と笑顔で言われ、立ち上がろうとしました。九州の田舎を思い出され、懐かしそうに、びわ、あけびを取りに行ったお話をされていっしょに楽しみました。

○Mさん「若い頃からいろいろな事やってみて、これからはもう特に何もいかな…と思っていた。今回、ここ(みのりカフェ)へ来て、まだ面白そうなことがありそうだな気がした！」

○Iさん、Sさんの会話で、「現役時代は大変だったけれど面白かった。営業で会社が出してくれたお金の何十倍も利益を上げたんだ」と、いきいきしたお話で話されていた。私も楽しませてもらった。

○Tさん「同じ人数の中に子供夫婦と孫が住んでいるが、孫の小さい頃は出入りがあり楽しかったが、今は一日中一人。今日のようなおしゃべりのできる輪に入ることが幸せな一時です」カフェの大切さを感じる。

サポーター： _____

みのりカフェ

みんなで考えよう！ **NGワード**



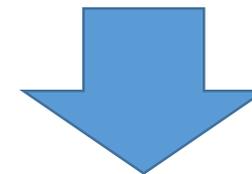
- ①相手の否定をしない
- ②がんばろう、大丈夫と言いすぎない
- ③横柄な態度をとらない(足を組む、のけぞる等)
- ④急がせない、「早くしてください」と言わない
- ⑤一方的に話をしない
- ⑥早口はダメ
- ⑦感情的にならない
- ⑧「本当ですか？」という返事をしない(ありのままを受容する)
- ⑨相手のペースを崩さない
- ⑩「私も認知が始まったかしら？」という会話をしない

みんなで考えよう！ 「NGワード」

カフェ中のサポーターの言動に「私も認知入ってきちゃったかしら」という言葉や同じような趣旨の言葉が散見。



事前ミーティングの際に、「NGワードを考えよう！」というシートを配布し自由記載してもらい発表。



「今までの参加でここまで深く考えてもみなかった。改めてこういう心構えが必要だと考えることができた。」

「認知症の人」ではなく

「一人のその人」として

みのりカフェ

今日の方の一言

平成 30 年 6 月 4 日 開催分

○Yさんがサポーターが持ってきたヤマモモを見て「私もヤマモモを取りに行く！」と笑顔で言われ、立ち上がろうとされました。九州の田舎を思い出され、懐かしそうに、びわ、あけびを取りに行ったお話をされていらっしゃいました。

○Mさん「若い頃からいろいろな事をやって来て、これからはもう特に何も無いかな…と思っていた。今回、ここ（みのりカフェ）へ来て、まだ面白そうなことがありそうな気がした！」

○Iさん、Sさんの会話で、「現役時代は大変だったけれど面白かった。営業で会社が出してくれたお金の何十倍も利益を上げたんだ」と、いきいきしたお顔でお話しされていた。私も楽しませてもらった。

○Tさん「同じ屋敷の中に子供夫婦と孫が住んでいるが、孫の小さい頃は出入りがあり楽しかったが、今は一日中一人。今日のようなおしゃべりのできる輪に入ることが幸せな一時です」カフェの大切さを感じる。

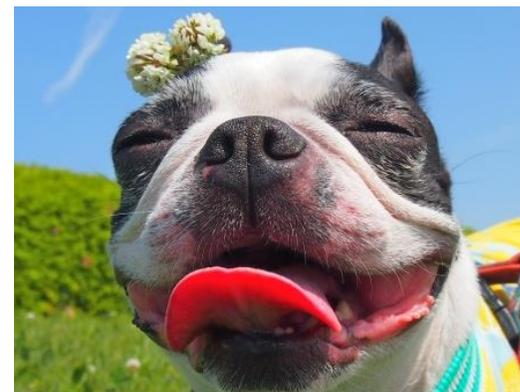
サポーター：

カフェ参加で見た「その人らしさ」

- 症状が現れ周囲からの孤立がみられる時期の包括との出会い。
⇒「困っている人」「困った人」という印象は多少でもある…
- カフェに参加したご本人の様子は…
⇒**笑顔・冗談・気遣い・陽気な会話…**
「その人」との出会いになった



職員の気持ちにも変化。「〇〇さん、大丈夫かも。」
次の支援につながる道しるべに。



どんなことしたい？

生活の中にこれまでなかった支障が生じて、楽しめなくなったこと、あるんじゃないかな...？



「お酒を飲んで、わいわい楽しみたいな～」

「昔、マグロ漁船に乗ってたんだ。
釣りにも行きたいな。」



それならば...



みのりカフェ de

釣り堀カフェ



日程 **4月18日(水)**
集合 **10:00 晃風園**
晃風園から車で出発します。
会場 **草柳園(泉の森のとなり)**
会費 **釣り料金、とれたてニジマス定食代で
ひとり 1,500円**

上草柳・中央地域包括支援センター(晃風園)

お問合せや
お申し込みは...

電話: 046-263-1108

担当: 石毛、高井、福濱、井上、沖津



みのりカフェ屋外プログラム ↑

↓ 夜カフェの開催(法人協力)

よりどころ

KOFUEN 晃風) 宴

そこに行けば

わたしの

うれしい、たのしい、大好き。

カンパニー

次回は...9月24日(月) 17:00

(毎月第4月曜日 17:00~オープンです)



まずは一杯。
これさえあれば、ごきげんに。

会費...ひとり 300円(よりどころセット)

- ・ノンアルコール
- または ソフトドリンク
- ・おつまみ盛り合わせ
- ・カラオケ(17:30~18:30)

よりどころ 晃風) 宴
電話: 046-263-8728(晃風園まで)

晃風園は夜もやっています。

お待ちしております。

カフェから飛び出せ！ そこで見た「その人らしさ」

当事者のできること、可能性って？

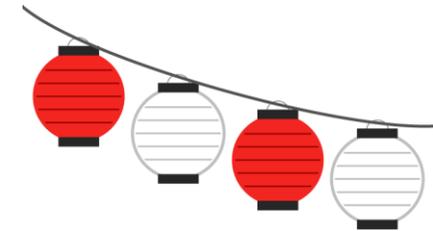
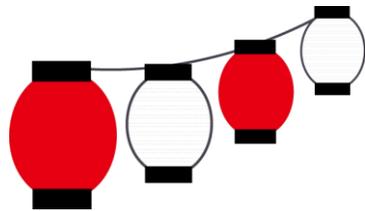
施設の納涼祭で模擬店の売り子を担当してもらおう！

- 焼きそば売り場を担当してくれた女性

「お手伝いならできるわよ」とエプロン持参。

「わたし計算できないから、みんなよろしくね」

特養に入所している夫が焼きそば売り場に現れると、誇らしげな顔で「今日は私こっちが忙しいから～」と。

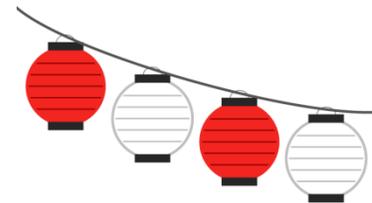
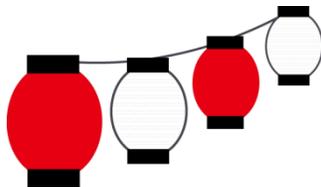


カフェから飛び出せ！ そこで見えた「その人らしさ」

当事者のできること、可能性って？
施設の納涼祭で模擬店の売り子を担当してもらおう！

- 焼き鳥売り場を担当してくれた男性
2本150円の焼き鳥「誰よりも計算が早い！」
妻より「そりゃそうよ。元銀行マンなんだから～」と。
⇒後刻、妻よりお礼のメールが…

「今日は主人のいきいきした姿はじめてみました。ありがとうございました。今後、もし、宜しかったら主人にお手伝いをさせてくださいませ。よろしく申し上げます。感謝です。」



カフェ参加で見た「家族のこころ」

【 Mさん（妻） 】

人に迷惑をかけないように、と集団の場にはいかず一人で散歩することが多かった。今まではなにがあつたかも話してくれなかつたけど、あんなにいきいきした姿をみたのは初めて。私が大事にしすぎたのね。間違ってたかもね（笑）

【 Sさん（嫁） 】

遠方に住む家族で普段は理解や協力が難しい家族。本人がカフェ参加の日に「楽しかった」と電話で報告。家族は施設入所を検討していたが、「おじいちゃんらしく過ごしてほしい」と気持ちに変化が。

カフェ参加で見た「住民の気づき」

【 Mさん 】

地元の老人会で認知症のある会員への対応でトラブルが。カフェで使用している「NGワード」を活用したい。

⇒気づきから地域に向けた正しい理解の普及啓発の担い手へ。

【 Mさん 】

最近、外出先で転んだり、たびたび自治会長に電話してるみたい。大丈夫かしら？

⇒無関心でなく「ちょっと気になる」が発信されるようになった。その後、地域ケア会議にも発展。

【 Nさん 】

「自分の地区のサロンにも誘ってみるわ」と気にかけてくれるように。

⇒自分にできることはあるかしら？と考え、発信。



大和市イベントキャラクター
ヤマトン

大和市の部会活動 「認知症当事者の方の声を聴く会」より

～若年性認知症当事者の方の支援について～

- それぞれの想いをカタチに。
 - 自分の体験を伝えたい。
 - 自分に課題を課す意味とは？
- 65歳の壁。
- 就労以外にも、地域とどのようにつながり、暮らしの中の社会参加をするか。



大和市イベントキャラクター
ヤマトシ

推進員の活動課題

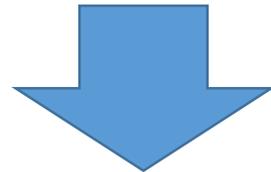
- 認知症を正しく理解するための普及啓発
⇒ 今までのツール以外の方法の検討

例) 当事者自身が活動を通して発信

地域の声を拾い地域ケア会議を開催

第2層協議体との連携・課題共有

など・・・



地域包括ケアシステムの構築へ



大和市イベントキャラクター
ヤマトン

今後の活動・取り組みの方向性

- 「その人らしさ・自立」を意識した活動
- カフェプロの取り組み
- ボランティア活動への参加
- ケアラーズカフェとの相互
乗り入れ
- 夜カフェ（よりどころ晃風宴）
とのリンク、生きがいと楽し
みのカタチ

CAFE PRO カフェ・プロ
～カフェを楽しく創るプロジェクト。～

いいね、かわいいね。が聞こえるカフェをみんなさんと一緒に。
カフェを彩るモノたちを、わたしたちの手で創りませんか？

以下の日程でカフェプロをオープンします。

5月29日(火)	13:30～15:30
7月17日(火)	13:30～15:30
9月18日(火)	13:30～15:30
11月20日(火)	13:30～15:30
2月19日(火)	13:30～15:30

場所：晃風園 支援室

上草柳・中央地域包括支援センター(晃風園)



大和市イベントキャラクター
ヤマトン

ご清聴ありがとうございました